



発行者
諫早市立真城中学校
校長 山内 昇

学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

○ 3年生 「総合的な学習の時間」の取組



3年生は、現在、7月16日（水）の総合的な学習の時間の発表に向けた取組を行っています。SDGSをテーマに、環境問題や貧困、食糧危機など、3年生にふさわしい「視野の広い」課題に取り組んでいます。今、世界は大きな変革期にあります。私たちが平和に学習をしているのが信じられない状況の国もたくさんあります。そのような中、生徒一人一人が世界に目を向け、自分なりの課題意識を持つことは、大変意義があることです。日本の学生は、「世界を動かすこと」への無力感を持っていると言われます。確かに一人の力で世界を動かすことは困難を極めます。しかし、課題を持って「何とかしよう！」と思う人、行動する人がいなければ、前に進むことはできません。3年生の皆さんは、今回の学習を通して、課題意識を持つことで、心の中に「何か」が芽生えたはずです。その小さな芽をどう育てるかは、自分次第です。真城中生徒の「輝き」に期待したいと思います。



また、左の写真のように、班ごとにクロムブックを開き、話し合いをしながら発表用のプレゼンテーションを作成していました。同じプレゼンを班で共有し、

共同編集を当たり前のように行っていました。一昔前であれば、模造紙に新聞を作成していましたが、ICT機器が当たり前の現在では、共同編集したプレゼンテーションを大型テレビに映し出して発表を行います。時代の変化を痛感しています。しかし、生徒同士の意見交換も弾み、工夫しながら制作活動に取り組む姿を見ると、本質は昔と変わっていないことに安心しました。

7月16日（水）に、1・2年生に向けて発表会を行います。素晴らしい発表会となることを、期待したいと思います。まさに、「真城中学生の主張」です！



○ 今日の給食【19日】

19日は、冷凍ミカン、かきたま汁、肉野菜炒め、麦ごはん、牛乳、でした。冷凍ミカンは、給食ならではのメニューで、今日は特に暑かったので、生徒たちは喜んで食べていました。肉野菜炒めも



大人気で、おかわりで並ぶ列がいつも以上に長くなっていました。

テスト1日目が終わわり、脳が栄養を使ったためか、給食を食べるスピードがいつも以上に早かったように感じました。

個人的な疑問は、冷凍ミカンを家庭で再現しようとしてもなかなか上手くいかないことです。給食の冷凍ミカンを超えるものはなかなか作れません。給食で食べる冷凍ミカンのおいしさは格物です！！



今回の「輝継」のタイトルは、1年2組の中村さんの作品です。かなり凝ったデザインで、センスのよさが伝わってきます。個人的に、かなり気に入りました。本当にありがとうございます！！

○ 真崎小150周年記念について【お知らせ】



昨日、真崎小PTA会長の竹内様が来校され、「**真崎小学校150周年記念行事**」についてお話をいただきました。上記の手作りのポスターを校内に掲示して、子どもたちにも周知をするとともに、保護者の皆さまにも改めてご紹介させていただきます。

真城中は、来年40周年を迎えます。**真城小**は今年40周年です。2校は諫早市内でも新しい学校です。したがって、この地域には真崎小卒業生の方がたくさんいらっしゃいます。一言で150年といいますが、その歴史の重みは相当なものです。この真城中地区を支えてきたのは、真崎小だと言っても過言ではないと思います。本校としても、伝統ある真崎小の記念行事に協力をしていきたいと考えています。

11月の記念行事には、多くの子どもたちと地域の方々の笑顔があふれていることと思います。



上の写真は、真城中校区の古い写真です。現在とは学校の場所も異なり、真城小・中学校の場所には校舎はありません。この写真からも、様々な歴史を感じ取ることができました。7月の「長崎っ子の心を見つめる教育週間」等でご来校の際に、ご覧いただければと思います。